

**降誕節第4週 主日礼拝**

2018年1月21日

第一礼拝(午前8:00～) 第二礼拝(午前10:30～) 夕拝(午後7:30～)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『エペソ人への手紙』6章14-17節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌9「力の主を」	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈禱	.....	司会者	
感謝の賛美	新聖歌232「弱き者よ われにすべて」	—	同
聖書朗読	『マタイの福音書』4章1-11節(新約4頁)	司会者	
黙想	.....	—	同
説教	「みことばだけが勝利の鍵」	近伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌38「わが目を開きて」	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱	.....	山岸あけみ姉	
諸案内	(来信・集会案内)	司会者	
諸報告	(来会者紹介・報告・暗唱聖句)	近伸之牧師	
※頌栄の賛美	新聖歌63「父 <sup>みこ</sup> 御子 <sup>みたま</sup> 御霊の」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	.....	近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)

第一礼拝	司会説教：近伸之牧師	音響：片山 勝三兄 献金：	
司集	会：片山 勝三兄 会：横堀 信子姉 会：笹川 清子姉	映像・音響：山崎 敬典兄 説教の録画：近伸之牧師	C S 担当：片山 初子姉 ※カナン訪問は取り止め 掃除：山岸あけみ姉

**説教メモ**

1. 悪魔は神の言葉も、人の欲求も熟知している。しかし主イエスは、悪魔の誘惑にただ聖書のみで抗した。
2. 神の言葉をわざと誤用する悪魔(6、創3:1)に対し、正しい理解と適用が不可欠。聖書を学び続けよう。
3. 「神の子」に悪魔は「奇跡と力」を見る。しかし主は十字架、謙遜、服従、聖書のみを神の子の証とした。

**先週の暗唱聖句**

「これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ」

(『マタイの福音書』3章17節)

**今週の暗唱聖句**

「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる」

(『マタイの福音書』4章4節)

(牧師のサイン： )

**個人、団体からの来信**

2018年1月21日

宣教区より10月役務者会の議事録、および11月宣教区会議の議事録/  
山形恵みキリスト教会より寄せ書き/「らいふだより」春待ち号/東京基督教大学より領収証

**先週の集会出席者数**

1/14(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計1 成人男性- 幼児女子2 小学女子1 中学女子- 高校女子- 女児計3 成人女性2		
	第一礼拝	男2 女4	※月に一回、実用書道教室を開催	
	第二礼拝	男11 女20 計31	1/15(月)	月曜家庭集会 男2 女4
	(子ども)	男児2 女児4	1/17(水)	ネヘミヤ祈禱会 男5 女5
	夕拝	(休会)	1/19(金)	しゃべり場夕ピタ 男- 女4
			1/19(金)	金曜祈禱会 男1 女4

**諸集会のご案内**

1/22(月)午前9:30	実用書道教室	『ヨハネの福音書』1章12節	書の指導：藤田美保姉
1/22(月)	月曜家庭集会は隔週で開催(今回は1/29)		
1/24(水)午後7:30	新潟山形僚禱会	教会堂	司会：山崎 敬典兄
1/25(木)午後1:30	しゃべり場夕ピタ	渡邊智子姉宅	問合せ先：小山 千春姉
1/26(金)午後8:00	金曜祈禱会	教会堂	
1/28(日) 降誕節第5週			
第一礼拝 午前8:00	司会説教：近伸之牧師	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
教会学校 午前9:00	担当：近伸之牧師		
歓迎礼拝 午前10:30	司会：片山 浩司兄 集会：渡邊 智子姉 小山 千春姉	映像・賛美：賛美チーム他 音響・録音：片山 勝三兄 説教の録画：近伸之牧師	感謝祈禱：山崎 敬典兄 掃除：横堀 信子姉
礼拝の予定	聖書：『ヨハネの福音書』1章35-51節		
午後の予定			
夕拝	※事情により休会		

**報告**

**1. 礼拝の感謝**

主日礼拝の恵みを感謝します。いただいたみことばを心に刻みつけて新たに歩みましょう。

**2. カナン訪問について**

昨日カナンより連絡があり、施設内でインフルエンザが流行しているため訪問を控えて欲しいという要請がありました。つきましては今回は訪問を取り止めることになりました。施設のかた、そして互いの体調の守りを覚えて祈りましょう。

子どもから教えられることって多いですね。昔、私たち夫婦が留守の間に娘が熱を出して学校を休むといいました。夕方心配して帰宅してみると、娘は熱のわりにすがすがしい顔をしていて、そして「病気になってよかった」と言うのです。何があったのかと思いますと、「さっき友だちのさやかちゃんが連絡帳もって来てくれてうれしかった。さやかちゃんは病弱でよく学校を休むから弱いんだなあと思っていた。今まで私は、自分は学校を休まない、今月もがんばり賞をもらう、と自分のことばかり考えていた。でも病気になって、病気になるって大変なんだなあ、弱いて大変なんだなってわかった。これからさやかちゃんにも喜んで連絡帳もっていったり、やさしくしてあげるんだ」と言うのです。

私はこれを聞いて思わず家内と顔を見合わせてしまいました。何か、大切なこと、貴重なことを見た、聞いた、という思いになったのです。子どもだと思って小さな心でいろいろなことを考えているんだなあと感慨深い思いになりました。やさしさとか思いやりは、本で読んだり教えられて身につくのではなく、体験して初めて身につくのですね。

なぜ人は病むのか、苦しむのか、万人に納得できる解答はないかもしれません。しかし人は、自

分が病み、苦しみにあった時、素直にありのままの姿の自分を見つめることができ、同時に人のありのままの姿をも見ることができるようになり、人への思いやりや、やさしさを味わう機会となるのです。病や苦しみが私たちをもっと味わい深い人生に導くという面があるというのです。こんな詩があります。

病まなければ、ささげ得ない祈りがある  
病まなければ、信じ得ない奇跡がある  
病まなければ、聞き得ない真理がある  
病まなければ、近づき得ない聖所がある  
病まなければ、仰ぎ得ない聖顔がある  
おお、  
病まなければ、私は人間でさえあり得ない

苦しみが祈りへの小路、神に出会う道であることを、旧約聖書の詩篇ではこう歌っています。

苦しみに会ったことは、  
私にとってしあわせでした。

私はそれで  
あなた(神)のおきてを学びました。

(『詩篇』119篇71節)

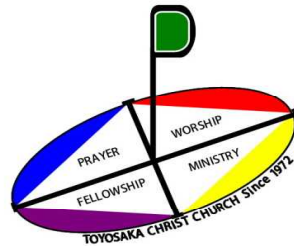
傷つけられた真珠貝がその傷をおおうためにあの美しい真珠をつくるように、傷ついた心、砕かれた心に神への信仰が生まれるのです。



まいとし がつ にち [ライバル]が手<sup>て</sup>を結<sup>むす</sup>ぶ日<sup>ひ</sup>。1866(慶応2)年のこの日、長州<sup>けいおう ねん ひ ちようしゅう</sup>の木戸孝允<sup>きど たかよし さつま</sup>、薩摩<sup>さいごう たかもり と さ さかもと りょうま ちゅうかい きょうと かいけん どうばく さつちようどうめい むす</sup>の西郷隆盛<sup>せいさく せいせい</sup>らが土佐<sup>とさ</sup>の坂本<sup>さかもと</sup>竜馬<sup>りょうま</sup>らの仲介<sup>なつかい</sup>で京都<sup>きょうと</sup>で会見<sup>かいけん</sup>し、倒幕<sup>とうぼく</sup>のために薩長<sup>さつちよう</sup>同盟<sup>どうめい</sup>を結んだ。写真<sup>しやしん</sup>は2010年に宮内<sup>みやうち</sup>庁<sup>ちやう</sup>が一般<sup>いっぱん</sup>公開<sup>こうかい</sup>した「薩長<sup>さつちよう</sup>同盟<sup>どうめい</sup>裏書<sup>うらがき</sup>」。桂<sup>かづら</sup>小五郎<sup>こごろう</sup>(後の木戸<sup>きど</sup>孝允<sup>たかよし</sup>)が坂本<sup>さかもと</sup>竜馬<sup>りょうま</sup>に宛<sup>あ</sup>てた手紙<sup>てがみ</sup>(黒字<sup>くろじ</sup>部分<sup>ぶぶん</sup>)の裏<sup>うら</sup>に龍馬<sup>りょうま</sup>自身が書<sup>か</sup>いたもの(赤字<sup>あかし</sup>部分<sup>ぶぶん</sup>)。木戸<sup>きど</sup>が薩長<sup>さつちよう</sup>同盟<sup>どうめい</sup>の内容<sup>ないよう</sup>を6項目<sup>くわむく</sup>にまとめて確認<sup>かくにん</sup>を求め<sup>もと</sup>めたのに対し<sup>たい</sup>、龍馬<sup>りょうま</sup>が表<sup>おもて</sup>の内容<sup>ないよう</sup>に相違<sup>へんどう</sup>ないと返答<sup>しやうわ</sup>した。昭和<sup>しやうわ</sup>に入<sup>はい</sup>ってから、木戸<sup>きど</sup>家<sup>け</sup>から皇室<sup>こうしつ</sup>に献上<sup>けんじやう</sup>された。

2017年度教会目標 「受けるよりも与えることを」  
「主イエスが自身が、『受けるよりも与えるほうが幸いである』と言われたみことばを思い出すべきことを、私は、万事につけ、あなたがたに示して来たのです」  
(『使徒の働き』20章35節)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15  
日本同盟基督教団 新潟山形宣教区  
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)  
TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155  
ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>  
電子メール: [info@toyosakakyokai.net](mailto:info@toyosakakyokai.net)  
ブログ: <http://toyosakakyokai.sblo.jp>



BSN ライフライン 毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中  
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



1/27(土)「賛美と共に25年」森 祐理さん  
福音歌手・森祐理さんは、心に響く美しい歌声で、多くの方々に希望のメッセージを届けています。そんな森さんは昨年、福音歌手として歩み始めて25年目を迎えました。10月に兵庫県芦屋市で行われた「25周年記念コンサート」から歌をお届けするとともにお話を伺います。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata BEGIN。ここから始まるあなたの伝道。  
私たち豊栄キリスト教会は、ライフラインの協力教会です。